

科目ナンバリング		U-LAS03 10002 SB48										
授業科目名 <英訳>		外国文献研究（文・英）A-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)A-E1					担当者所属 職名・氏名		文学研究科 教授 中砂 明德			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		外国文献研究			使用言語		日本語	
旧群	C群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	演習（対面授業科目）			
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	月5			配当学年	2回生以上		対象学生	文系向	
【授業の概要・目的】												
<p>この授業では、ゲッチンゲン大学の中国学者ドミニク・ザクセンマイヤー（Dominic Sachsenmaier）のGlobal Perspectives on Global History:Theories and Approaches in a Connected World(Cambridge University Press,2011)を読む。グローバル・ヒストリーについては日本でも啓蒙書がいくつか出ているが、その多くは「グローバル・ヒストリーとは何か？」に焦点があり、それが世界の各国の学界でどのような文脈に位置付けられるのかという視点を欠いている。本書は、アメリカ、ドイツ、中国を例にとり、それぞれの国・学界でグローバル・ヒストリーがどのような状況のもとに生まれたかを論じている。本書を読むことで、日本のグローバル・ヒストリーの現在地を知ることができるだろう。</p>												
【到達目標】												
<ul style="list-style-type: none">・英語の学術的な文章の筆法に慣れる。・各国のグローバル・ヒストリー研究の状況を見ることで、日本の学界の状況を知ることができる。												
【授業計画と内容】												
<p>全書を読む時間はないので、総論を読んだあと、米・独・中三国の各章からそれぞれ2節ずつを選んで読む。</p> <p>1. 著者、本書の趣旨の紹介</p> <p>2. 総論 1 : The question of traditions</p> <p>3. 総論 2 : The formation of a discipline</p> <p>4. 総論 3 : Implicit geographies</p> <p>5. 総論 4 : Global facets of historiography</p> <p>6. 総論 5 : A Global professional milieu and its hierarchies</p> <p>7. 総論 6 : Decentering movements and the Cold War</p> <p>8. 総論 7 : Epistemological doubts</p> <p>9. アメリカ 1 : "Global history"-the rise of a new term</p> <p>10. アメリカ 2 : Gaining shape</p> <p>11. ドイツ 1 : Beyond the Sonderweg</p> <p>12. ドイツ 2 : Towards new world and global historical spaces</p> <p>13. 中国 1 : World history during the 1990s and after</p> <p>14. 中国 2 : Newly positioning historiography at a global level?</p> <p>期末試験</p> <p>15. フィードバック</p>												
----- 外国文献研究（文・英）A-E1(2)へ続く -----												

外国文献研究（文・英）A-E1(2)

【履修要件】

人文系の英語文献の基礎的な読解力を有する学生の履修を前提とするため、2回生以上を対象とする。

【成績評価の方法・観点】

期末試験(50%)、通常授業への参加の状況(50%)。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

わからない単語や固有名詞については事前に調べておくこと。

【その他（オフィスアワー等）】

履修定員を45名とし、履修人数制限を行うため、履修を希望する者は履修人数制限科目申込期間にKULASISから申し込むこと。

なお、以下の条件順で抽選を実施し、履修を許可する。

- 1．文学部の4回生（所属系は問わない。）
- 2．文学部歴史基礎文化学系および基礎現代文化学系の2・3回生
- 3．上記系以外の文学部2・3回生
- 4．文学部以外の学生